

平成29年11月24日
熊 本 県 宇 城 市

おおつかだいichiせき
大塚台地遺跡の保存を決定
～災害復興事業と文化財保存の両立へ～

宇城市では、本年10月20日付け報道資料により、災害公営住宅の建設に伴い実施した発掘調査(大塚台地遺跡第2次調査)において、弥生時代後期末(3世紀前半頃)の首長墓が出土した旨をお知らせしたところですが、本件に関して、この度、当該墓域については**現状保存**することを決定しましたので、あらためてお知らせします。

【大塚台地遺跡の出土に伴う今後の対応】

出土した墓域は、首長クラスの人物が埋葬されたと考えられる しゅうこうぼ 周溝墓と、それを囲む どうぼ ように出土した土壇墓によって構成されており、今回のように狭い範囲に墓域構造のセット関係が確認できる例は、県下では非常に稀です。また、過去に近隣で実施された発掘調査(大塚台地遺跡第1次調査)で確認した集落に対応する墓域の位置や関係性を理解するうえで貴重な事例です。

なお、現地は災害公営住宅の建設予定地となっていますが、この墓域が保存されることに伴い、同敷地内において保存が決定した範囲外に建築される予定です。

※ 今回の発掘調査は、本来宇城市により実施する予定でしたが、熊本地震による発掘調査件数の増加により、他県から熊本県に派遣された職員と熊本県文化課職員の協力を受けて実施されたものです。

【問い合わせ先】

宇城市教育委員会
文化課 文化財世界遺産係 担当：神川
〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85
TEL：0964-32-1954（直通）
0964-32-1111（代表）
FAX：0964-32-1137